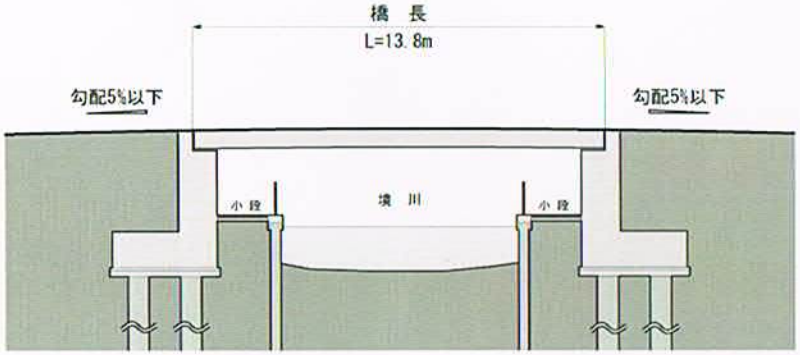
○新中橋の概要

位　置	浦安市猫実４丁目～堀江２丁目
橋　長	13.8m
幅　員	12.0m（歩道３m＋車道６m＋歩道３m）
斜　角	86°10′
構　造	下部構造　逆Ｔ式橋台（PHC 杭Φ700、L=29m） 上部構造　プレテンション方式　PC 単純スラブ桁橋
工事費	１億２千万円
工　期	平成 22 年６月～24 年３月

完成した新中橋

側　面　図



三代目「新中橋」

初代「境川小橋」
（昭和 44 年）

二代目「境川小橋」
（昭和 60 年）

○新中橋開通式典
2012.6.3 10:00～　新中橋にて
〈内容〉
・橋名板の除幕とテープカット
・夫婦三代の渡り初め
・和太鼓や消防音楽隊の演奏
・緊急車両の渡り初め

浦安市　都市整備部　まちづくり事務所
浦安市猫実 3-25-10　(TEL) 047-382-3721

浦安市

○新中橋の整備

これまで境川をはさんで堀江地区と猫実地区は、道路が狭く住宅が密集していることから、緊急車両が通行できないなどの問題を抱えており、既成市街地の再整備は長年の悲願でありました。

初代の橋は、昭和 44 年に堀江・猫実を結ぶ人道橋として架けられ、当時は「境川小橋」と呼ばれ親しまれてきました。

また、昭和 60 年には、二代目の橋として幅員６mのコンクリート橋に架け替えられ、車両が通行できるようになり、より地域の利便性が向上しました。

このたび、完成した三代目となる橋は、幅員 12mとし両側に 3mの歩道を設け、これまで太鼓橋であった橋から勾配をできる限り平坦（5%以下）にして、だれもがより安全で快適に利用でき、そして、地域の生活環境の向上を図る橋として、「境川小橋」から「新中橋」に生まれ変わりました。

工事は、橋の撤去から完成まで約２年間を要しましたが、地元の皆さんのご協力により完成することができました。

【密集市街地整備の取り組み】

この地区は、道路が狭く大型車両の進入ができないため、橋の架け替えや護岸の改修を行うことが困難な状況でした。

そのため、土地区画整理事業では、影響のある家屋を順次移転していただき、新中通りの整備を進めながら、仮設道路を設け、平行して橋の架け替えや護岸の改修工事を進めてきました。

杭工事

橋げたの搬入

橋げたの設置

○新中橋周辺の水辺空間整備

境川は、時代の流れにより景色も変わりましたが、今も周辺に風情のある建築物が現存し、漁師町の面影を残し地域の人々に親しまれています。

新中橋の架け替え工事では、千葉県と連携しながら一体的にデザインの統一を図り、護岸の改修工事も進めてきました。

新中橋周辺は、水辺空間整備事業により護岸に小段を設け、壁面をタイルで仕上げ、手すりには照明が取り付けられるなど、これからも地域の人々に親まれる憩いとうるおいのある水辺空間として調和のとれた景観に生まれ変わります。

整備前の境川

整備後のイメージ